



### 華族女學校行啓

皇后陛下には豫て仰せ出されたる如く先月十七日  
午前九時御出門永田町なる華族女學校へ行啓あら  
せられたり。當日御覽に入れ奉りし全校生徒の運  
動順序は左の如し。

- 唱歌 學びの園 初等中學全體、高等小學第一、二級
- 唱歌 御代の榮 初等中學全體
- 第一 ホソネーズ 初等小學第二、三級
- 第二 毬遊び毬門毬投げ 初等小學第三、一級
- 第三 遊戲 幼稚園幼兒
- 第四 平衡運動、羅旋運動第一 初等中學第二級
- 第五 啞鈴體操(アンダイルヨリス)駢足 初等中學第二級
- 第六 方形運動第一、進行其一 初等中學第二級

- 第七 毬籠二種 初等中學第三級
  - 第八 救難競走 高等中學全體、附屬高等小學第一級
  - 第九 テザーボール 初等中學第一、二級十六名
  - 第十 矯正術、表出體操(トビクルトンホ) 高等小學第一、二級
  - 網越し、進行其二
  - 第十一 鐵啞鈴體操、襪の屈伸、暢骨運動 高等中學第一級
  - 第十二 豆鑿競送 初等小學第二、三級
  - 第十三 ローンテニス 高等中學第一、二、三級十六名
  - 第十四 投擲競爭 高等小學第一、二級
  - 第十五 踵趾運動、柱環り、唱歌(凱旋) 初等中學第三級、高等小學第三級
  - 第十六 遊戲 幼稚園幼兒
  - 第十七 蛇行進 初等中學第一級
  - 第十八 舞音公小島 高等小學第一、二級
  - 第十九 網飛八種 初等中學第二級
  - 第二十 器械體操 初等中學第三級 高等小學一、二級十五名
  - 第二十一 方形運動第四、進行其三 高等中學全體
  - 第二十二 後ろ送り 高等小學第三級 初等小學第一級
  - 第二十三 稻千競爭 初等中學全體
  - 第二十四 ホソイトリー氏體操 高等小學第三級十八名
  - 番外(綱引)卒業生 唱歌(君が代)生徒全體
- 右終て午後四時二十分還啓あらせられたりと。

●女子高等師範學校

同校に於ては、例年の如く先月初旬より、數週に分れて四年級生徒を、日光に修學旅行せしめたりといふ

▲如蘭會 先月十日午前十時より同會總會を開きたりとの事

▲送迎會 同校音樂教師奥好義氏は先般其任を辭せられ又洋行中なりし同校教授下田次郎氏は先月十七日歸朝せられたるにより先月廿九日午後五時より生徒一同送迎會を開きたりといふ

▲幼稚園運動會 先月廿五日午前九時より幼稚園にては父兄懇話會を開き同時に運動會を開きて參觀せしめられしとの事なるが其順序は左の如くなりし由

(一)

會集

(イ) 唱歌 つばき

(ロ) 全 鳩ぼつぼ

全体

(ハ) お話

(ニ)

花輪

遠音のラツパ

一ノ組

(三)

遠音のラツパ

二ノ組

(四)

てふくすめ

三ノ組

(五)

徒步競走(旗取り)

一ノ組

(六)

廻り鬼

二ノ組

(七)

家鳩

一ノ組

(八)

徒步競走(毬拾ひ)

二ノ組

(九)

蓮の花

三ノ組

(十)

戴鬘競走

一ノ組

(十一)

池の鯉

二ノ組

(十二)

輪拾ひ

三ノ組

(十三)

毬送り

一ノ組

(十四)

綱引

一ノ組

(十五)

一八一脚

二ノ組

(十六)

競馬

二ノ組

(十七)

桃太郎

二ノ組

(十八)

うづまき

全体

●東京音樂學校

同校秋季演奏會は、先月十六日午後一時半より開會したり。何れも見事に演奏せられたるが中にも、ハイドリツヒ氏のピアノ獨

彈幸田教授のバイオリン獨奏は、さすがに聴衆を感動せしめたること深く、生徒青木兒氏及柴田女

生徒の獨唱は、最も素人の耳にも適當したるが如く満場の喝采を博したり。

●女子東京美術學校 今回新校舎落成したるを以て、先月二十二日正午より開校式を舉行せり。

先づ湯本前校長の挨拶につき、現校長藏原惟廓氏の熱心痛快なる演説あり、夫より辻帝國教育會長、井上文學博士の演舌、千家知事、松田市長

祝文等ありて、此間にピアノ、オルガン、バイオリン等の演奏ありたり。當日は頗る盛會にて、來賓式場に充ちて尙廊下等にも溢れ居る様なり

き。教壇には悉皆成績品を陳列しありしが、本年一月より授業し來りたる割合には、技術の巧妙

最も見るべきものありき。尙其翌日及翌々日の兩日間生徒成績展覽會を開きたり。

↓

●婦人讀書會 此程有志の婦人方が設立せられたる同會は、婦人相互に讀書を奨勵する主旨にて、一日間少なくとも三十分以上の讀書を爲す規約を結び、若し其規約に背きたるものあればこれに罰金を科し、之をつみて會費と共に新著購入費に充つる趣向の由。去月廿二日麴町區平河町五丁目なるミス、パーカー氏宅にて發會式を擧げたり。

●足利幼稚園 會員下野足利町鐵阿寺學頭山越窓空師の設立にかゝり、會員關姉之が主任保母として本年一月に開園せられしもの、目下幼兒の數七十五名あり、先月廿二日父兄懇話會を開き、東京より東基吉氏臨席して保育上の談話をなしたる由なるが父兄よりも保育上につきての種々の談話質問等も出で、中々に珍らしき盛會なりし由。

尚全會は毎年春秋二期に開會の筈なるが、目下母

七十四

親の側にて、保育會なるものを設け次回よりは其の發起によりて幼稚園の懇話會をも開かんと熱心に計劃せらるゝ向もありとか、至極の美譽といふべし。

●歌御會始御題

明治三十六年歌御會御題は

「新年海」と仰出され詠進書式并に期限等左の通定められたり

料紙は檀紙、奉書、杉原紙又は美濃紙を用ふ。  
詠進は一月十日までに宮内省御歌所へ差出す可し  
但一人一首に限る

五但し折

詠 整

御 題

名 上

裏面書式

某府下某國某郡某町住  
市某村住

華士族又は平民

苗 字

官位勳功爵を有する者は苗字の上に記載すべし

●學生々徒の敬禮法

帝國教育會は曩に文部省

より諮問したる學生々徒敬禮法に關し評議員會を開き左の如く決定し直に之を答申せりといふ。

▲立禮、男子普通の立禮は姿勢を正し、帽を右手に持ち、兩手を垂れ、体の上部を少しく前に傾くるものとす。最敬禮にありては兩手を膝の上まで下ぐべし。女子の立禮は男子に準するものとす。

御眞影を拜するときは、御室に入り最敬禮を行ひ、更に指定の場所に進み、最敬禮を行ひ、其儘に三步退きて右旋し、御室の出口に於て最敬禮を行ひ、然る後退きて退歩す、但多數一同にて御眞影を拜するときは、一齊に最敬禮を行ふものとす。途上に於て行幸啓に逢ふときは、前驅の椅前より道路一側に停止、正面して帽を脱し、車駕六歩前に近づかせらるるとき最敬禮を行ひ、六歩過ぎさせらるゝまで此姿勢を保つべし。

▲坐禮、男子普通の坐禮は兩手を八字形にして、膝の前に置き、体の上部を前に傾け、頭を坐面より凡五寸の所まで下ぐるもの

とす、女子の坐禮は男子に準ず。

●教員檢定試験本試験問題

◎習字科

揮毫

- 一、律已貴廉勤御事要明斷
- 二、高砂住の江の松も相生のやうにおぼえ男山のむかしを思ひ出でをみなへしの一時をくれるにも歌をいひてぞなくまめける。

- 三、靜座觀空除念調息以洗心養心不禪不妄政有淵致
- 四、白雲にはれうちかばしこふ雁の數さへ見ゆるあまの夜の月

教授法

執筆指法は師傅と習儀等により種々あるべしといへども普通教育上如何なる法を最も宜しとするや(圖を以て示すも妨なし)右揮毫教授法を通して三時間

◎數學科(代數幾何)

午前の部

1.  $458.9276 \times 67.5823$  の積を  $0.0427 \times 0.5839$  の積で割りて商を百の位まで算出せよ。
2. 溢れつゝある井戸あり、水は絶えず一様に涌き出るものとすし四個の唧筒を用ゐる時は十五分時間に其水を盡すべく、八個

の唧筒を用ゐる時は七分時間を要すとす時は、之を五分時間とすに幾個の唧筒を使用すべきか。

3. 次の方程式と不等式との一組を解け

$$ax - by = 1, \quad px + qy > 1,$$

4. 次の方程式

$$x^2 - (9a - 2)x + 15a^2 - 2a - 7 = 0$$

の根の平方の和が  $9a$  なる時は  $a$  の値如何

5. 答案は一間毎に別々の紙に記し且つ毎葉姓名を記すべし

午後の分

1. 三角形 ABC に於て D, E, F を夫々邊 BC, CA, AB の中點とし、A を通過する任意の直線が DE 及び DF を交る點を夫々 M, N とすれば CM と BN とは平行なり、之を證明せよ。

2. A は與へられたる圓周上の一定點なり、今其の圓外の點 P より A に至る距離 PA の  $\frac{1}{2}$  より引きたる切線の長さを PT に對する比 PA:PT が不変なるとき、P 點の軌跡を求めよ。

3. 正六角形 ABCDEF を底面とし或る一點 O を頂點とする所の角錐を一つの平面にて截り、頂點と底面との間に於て六つの斜線を交らしむれば、其の截り口なる六角形 A'B'C'D'E'F' の A'B' 邊及び D'E' 邊の交りと B'C' 邊及び E'F' 邊の交りと C'D' 邊及び F'A' 邊の交りとはいずれも同一の直線上に在り、之を證明せよ。

高等女學校、女子師範學校、師範學校女子部のみの教員志願者は問題3に答ふることを要せざる代りに次の問題3

\*に答ふべし

3\*空間に於て四點A、B、C、Dあり、ABの中央點をO、Dの中央點をEと連結する直線はADの中央點をF、BCの中央點をGと連結する直線と相交ることを證明せよ、

以上二時間

(ついで)

●幼稚園と近視眼者増加との關係

と題して近刊の新聞に左の如く見えたり。近來歐洲諸國にては近視眼者の數著しく増加したる由にて眼科醫は其原因に就きて切りに調査中なるが倫敦キングス、コレージュの眼科教授マックハーチーの説に據れば斯く近視眼者の増加したるは現時の幼稚園制度の然らしむる所にして幼稚園生徒が光力の不完全なる室に在りて種々なる色紙に視力を費すは非常に害あることなり余の調査したる所にては近視眼者は幼稚園の設けある大市

街に多く少年の時に視力を讀書等に多く使用せざるものは視力の優れるを見るなり云々

吾人は其果して然るや否やは知らざれども、兎に角不完全なる室内に於て長く幼児に作業を命じ、以て單に筋肉手指の練習とか、感覺の練習とか稱して形式的効果にのみ心を傾くる保育法の、有益無害なる所以は知ること能はざるなり。

會報

入會之部

- 東京本郷區森川町壹番地早川龍介方
- 牛込區市ヶ谷佐内坂町九
- 岡山市深抵幼稚園
- 岡山市清輝幼稚園
- 岡山市環翠幼稚園
- 岡山市弘西幼稚園
- 岡山市内山下石山
- 岡山縣師範學校附屬幼稚園
- 田村 すみ
- 鈴木 重子
- 小畑 眞佐
- 山田 竹
- 高木 萬壽
- 古田 重
- 谷久 萬
- 岡康

岡山縣師範學校附屬幼稚園  
東京日本橋區蠣殼町三ノ三

淡路國志樂町

東京下谷區櫻木町、一  
全上

淺草區松清町四〇德風幼稚園

改姓之部

轉居之部

廣島市大須賀村八五山嶮源太郎方へ  
神奈川縣鎌倉郡川口小學校へ  
和歌山市北ノ新地東ノ丁六へ  
和歌山市五番町裁判所北横  
清國北京朝陽門内羊尾巴胡同へ  
東京麹町區元園町一ノ三三へ  
大分縣北海野郡白杵町  
東京本郷區金助町一番地へ

會費領收 自十月二十六日  
至十一月二十五日

一金壹圓 自三十五年十一月  
一金貳拾錢 自三十五年十一月  
一金六拾錢 自三十五年十一月  
至三十五年十二月  
至三十五年十二月  
至三十五年十二月

羽田收

杉本園	加納てる	神代まさ	三好スミ	永井アイ	八田さだ	北野晴	吉田たみ	平岩繁治	若尾久壽	宮本こずみ	服部繁子	早川いし	北野晴	中村五六	宇佐美春	鈴木重子	谷久満
一金貳拾錢	一金貳拾錢	一金貳拾錢	一金貳拾錢	一金貳拾錢	一金貳拾錢	一金五拾錢	一金壹圓二拾錢	一金六拾錢	一金參拾錢	一金二圓四十錢	一金壹圓	一金五拾錢	一金八拾錢	一金參拾錢	一金五拾錢	一金參拾錢	一金二拾錢
自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十一月

小畑眞佐	山田竹	高木萬壽	岡康	杉本園	古田重	鈴木てる	小倉みき	吉澤とも	數藤きん	矢野そう	吉良マヤ	中野芳枝	井上千代	若尾久壽	福田米	神代まさ	北村きた	加納てる
------	-----	------	----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------

一金壹	一金五	一金拾	一金貳	一金壹	一金壹	一金五	一金五	一金五	一金五	一金壹圓二十錢	一金壹	一金拾	一金拾
圓	錢	錢	錢	圓	圓	錢	錢	錢	錢	錢	圓	錢	錢
至三十五年二月	自三十五年四月	自三十五年十二月	至三十五年十一月	自三十五年十一月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月	自三十五年十二月

清水喜代	八田さだ	八田さし	田村すみ	中島敏	東條順	小谷野千代	小谷野かれ	野尻てつ	土川五郎	廣瀬まさ	佐藤壽鏗	永井あい	三好すゝ
------	------	------	------	-----	-----	-------	-------	------	------	------	------	------	------

